連帯にこたえよう

三池に学ぶ全国集会が実を結ぶ

いま三池には、各地の若い仲間からひっきりなしに、カンパや激励の手紙が寄せられています。東京都豊島区議会議員の広部敏政さんは「私たちは三池CO患者のことは忘れたことはありません。一生懸命支援致しますので……」とまた姫路市本町百八番地姫路郵便局の高見誠規さんは「週刊朝日の柴田翔氏のルポで、CO家族の三上成美さんが『仂く仲間たちが、私たちのことを本当に覚えていてくれるか不安』と語った、とありますが、僕たち労仂者は絶対に忘れません」と、さらに佐賀県伊万里市山代町久原のラクダ産業九州工場労組の便りは、「三池から送っていただきました資料にもとづいて守る会結成の呼びかけを始めている」として、守る会費や機関紙購読料を送ってきましたし、横浜市中区旧本大通り五六番地の全逓神奈川地区本部からは、自主的に構成詩劇をつくって〝三池の歴史〟を上演したとの知らせとともに、COカンパが送ってきました。これらの暖かい連帯にこたえるためにも、私たちはいっそうがんばってゆきましょう。

写真は問題のカネミ倉庫

油症患者も闘いに立つ

いま〝米ぬか油症患者〟の問題が注目されているが、この患者も放り出されている。

原因が明らかになった頃、問題のカネミ食油責任の加藤三之輔社長は「十分な保障をする」と語っていながら、その後は忘れてしまった様子で、まさにCO患者・遺族に対する三井の態度と怒ふたつ。

被害者の会は闘いに立ち上がった。

三池では資本家がきっと手をあげる

東京　鈴木恒雄さん

長い間お世話になり、誠にありがとうございました。

いま宿舎で休憩をしているところです。反省してみると、三池の方々に明確的にいうと、もっとお世話になり、ともに労資間の実態を調べたかった。

何んでも知ろう、やって見ようと意欲があったら、その外の旅行はとりやめたかも知れない。友だちと一緒で自由にならなかったのが残念です。

要するになぜこんなにも、三池の皆様方が性炎的というか、精神的にも明るいのだろう。弾圧されても、人間的に相互に援助し合う。金戔的には負けても人間的な暖い手があり、健康（生命）を資本（守る）とするところに一般的な組合活動があるが、三池さんの場合は誰よりも、相互援助が密接であり、まさに人間の故郷が秘められているのではないかと思うのです。とにかく地道な闘争が、僕にとっては完全な魅力でした。

僕は学生運動をしている現代の活動家を三池さんに訪問させればまさに真の長期的革命者が生まれるのではないかと思うのです。一般のマス・コミに踊って明け暮れている現代の若者は、資本家のために利潤追求をし過ぎている。

労仂者に相違はないが、労仂者の意識を持とうという気持になれず、エリート意識というか、出世コースを追うようになってしまう。企業に対する不満が起きるのも当然だと思うのですが、その思いを持たせないところに近代的な思想攻撃（ZD、QC）があり、複雑な合理化があります。

三池さんの場合は、どんな合理化があっても、私は、資本家の方が先に手をあげてしまうときがくると思うし、またその日は間近であります。お互いに頑張りましょう。

CO患者守る会への加入者名簿を送付させていただきます。

×

三池に学ぶ全国集会参加の方でこの手紙はCO家族の石原まさ子さんととり交わされたもの。お住まいは次の通りです。

「東京都豊島区西巣鴨二の二四〇二」

三池で学んだこと生かし頑張ります

北海道　金子博幸さん

お便りが遅くなってすみません。僕は筆ぶしょうなので、書こうとは思っていたのですけれど、書けなかったのです。

名寄は雪が降って寒さがきびしく、毎日零下三十度―三十五度ぐらいに下がり、本当に吐く息さえ凍るようです。

僕が行っていたとき、そちらはあたたかくて良いお天気でしたけれど、三池では大変お世話になりました。本当に有難うございました。心からお礼申し上げます。

ところで荷物は着きましたが。北海道の名産といっても名寄では余りそれがなくてこまります。

考えたあげく、父の勧めているうどん工場のうどんと、僕の家でとれた小豆などを入れたのでお受けとり下さい。

僕は名寄に帰ってから、そちらで学んだことを生かしてがんばっております。

CO患者守る会も発足しそうですから、皆さんもご苦労さまとは思いますけれども、身体だけは大切にして頑張って下さい。僕たちもみんなやる気十分ですから。

では皆さんによろしくお伝え下さい。身体に気をつけて長生きして下さい。僕は夏にも三池に行く計画です。またよろしくお願いします。

×　×

これは宮浦の田中梅松さん、静枝さんご夫婦との間でとり交わされた手紙です。金子さんは、この間の〝三池に学ぶ全国集会〟にやってきた人です。次はそのお住いです。

「北海道名寄市緑ガ丘十五線六の三番地」

田中さんとともに

先日よりCO患者守る会の会員を、一人二名以上獲得する運動をするように、分会でも各班ごとに話し合いをしています。

ひと口に守る会の会員を二名会に入れるといっても、一回きりの会員であり会費は何人でも一応入金してくれる人もあると思いますが、これが半年、一年とつづかなければ意味のないことであればよほどの理解者でない限り、また活動家であっても入会はしても金をだすことになると、嫌がるのが人情です。

まして毎日、元気にブラブラしている患者に対して百円もだされんと、反対に坑内での苦しい労仂条件などを話しだす組合員の方もあり、私はいま、つかわれているかのように思われているのが、残念です。

組合の情宣のときにはもっとくわしく、上っ面だけでなくもっと掘り下げて、情勢など悪いときには悪い、良いときは良いなといってもらいたい。闘うときは力一ぱい闘う。苦しむときは仲間と一緒に苦しみ、楽しむときには仲間と一緒に手を取り合って楽しむ、というようになければ前進もしないし明るくもならないと思います。闘い終ってから執行部にくってかかってもはじまらないと思います。くってかかる前に、自分がどう闘ったかを反省する必要がないでしょうか。

闘いというのは、一人だけどんなに力んだところでどうにもなりません。まして日本一の殺人会社三井に対してのこと自分たち全員が力一ぱい闘ったかどうだったか。

先日地方選挙があったが、組合推せん候補の車ならいざ知らず、革新政党とはいえ他候補のマイクをにぎり、声高らかに呼びかけてまわっている人もあった。二～三の組合員の方が私が仂いている店にきて、「奥さん、なんなあの人はこの間まで組合員・主婦会の応援で闘いをしていた人じゃなかなおっとま、こんどからは応援せんけんの」と、私にやかましくいって帰られました。

あんなことでは当選するはずの候補者も落選するようになるし、一票一票足でかせいで集めてまわった者はバカのような気になる。

生活が豊かで、何の心配もなくなれば、こんなことを書くバカもないと思います。

店で仂いていますが、いろいろの方たちと話し合いますがもっともだと思います。

またCO患者守る会の会費の利用を、組合員、主婦会員、遺族の方たちの中には、はっきり知っている人が少ないように思われます。

現在柵内に仂いていて一カ月の給料が二万七千円以下の人たちには、守る会の会費から援助しているかのようにいわれた人もあり、やはり名称がCO患者守る会となっているので、CO患者全部の生活困窮者のために

生活さえ豊かであれば こんなことも書かないが

―CO家族―

五十肩

宮浦　高椋竜生

肩の下のほうから
前につきだすようにして
うえ
うしろのほうへ
廻しながらうごかすと

生きたままの
人間を
ゴリ　ゴリ
戦車にかける
ときのように

筋の
いっぽん
いっぽんが
気味悪く
不調和音をたてる

合理化の
ごう問にかけられ

はがいじめされ
あぶらまでぬきとられ
カサカサになった
肩で
ためいきをついている
担いだこ

おれの
なにもかも
資本の
なにもかも
知っている
担いだこを
いちばん
よく
知っている
五十肩

おれは

この肩に
春闘の
赤旗をかつぐ。

おふくろさんこんにちは

統一劇場大牟田公演

昨年〝雑草の歌〟で大牟田の若い労仂者の注目を集めた統一劇場が、こんどは〝おふくろさんこんにちは〟を、大牟田で公演する。

「はじめっから終りまで笑いっぱなしだった。それでいてホロリとさせるところが気にいった」「むりにでもつれてきて、母に見せてやりたかった」…など、見た者は手ばなしでほめている。きっと仂く者の劇として、素晴しいものと思われるし、ぜひ見ていただきたいものである。

とき　三月十一日午後六時

ところ　大牟田市民会館

▼入場券は三百円。各指導部にお問い合わせ下さい